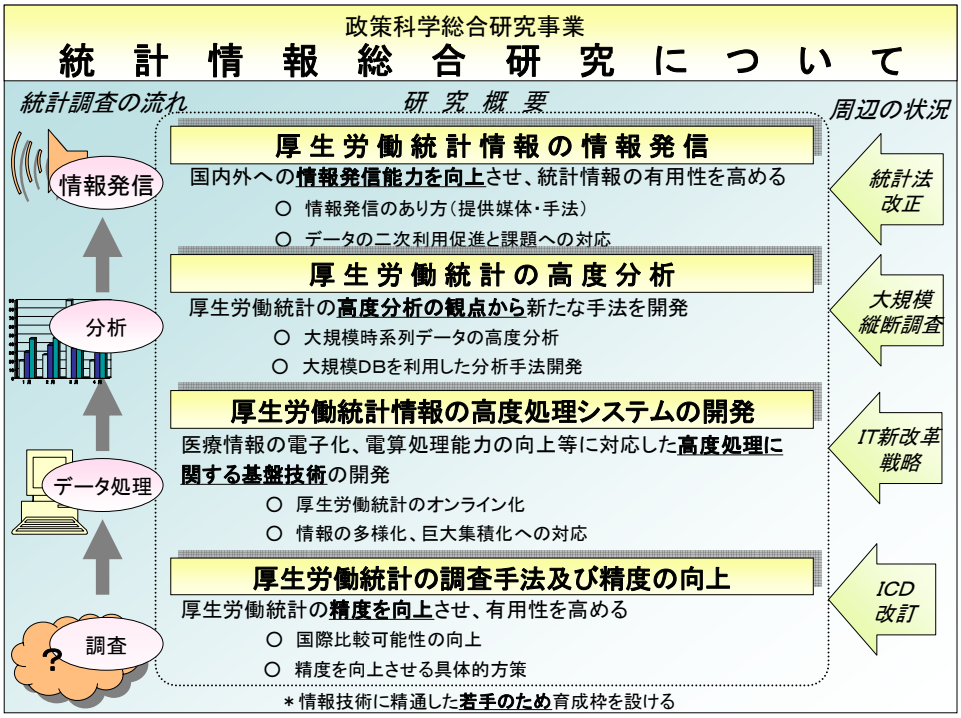
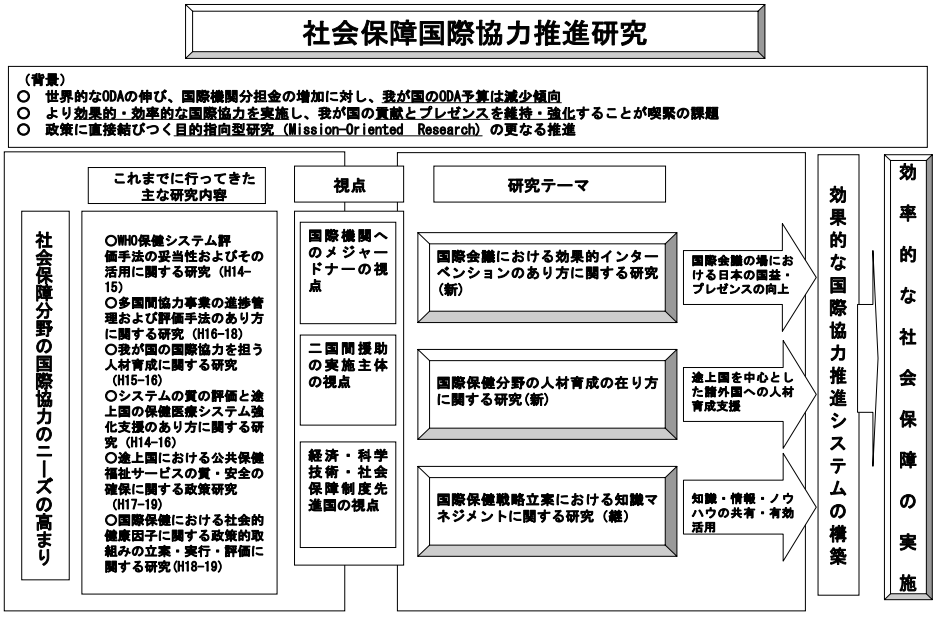

政策科学総合研究事業
統 計 情 報 総 合 研 究 に つ い て
統計調査の流れ
研 究 概 要
周辺の状況
情報発信
分析
データ処理
調査
厚生労働統計情報の情報発信
国内外への情報発信能力を向上させ、統計情報の有用性を高める
○ 情報発信のあり方（提供媒体・手法）
○ データの二次利用促進と課題への対応
厚生労働統計の高度分析
厚生労働統計の高度分析の観点から新たな手法を開発
○ 大規模時系列データの高度分析
○ 大規模DBを利用した分析手法開発
厚生労働統計情報の高度処理システムの開発
医療情報の電子化、電算処理能力の向上等に対応した高度処理に関する基盤技術の開発
○ 厚生労働統計のオンライン化
○ 情報の多様化、巨大集積化への対応
厚生労働統計の調査手法及び精度の向上
厚生労働統計の精度を向上させ、有用性を高める
○ 国際比較可能性の向上
○ 精度を向上させる具体的方策
統計法改正
大規模縦断調査
IT新改革戦略
ICD改訂
＊情報技術に精通した若手のため育成枠を設ける


社会保障国際協力推進研究
（背景）
○ 世界的なODAの伸び、国際機関分担金の増加に対し、我が国のODA予算は減少傾向
○ より効果的・効率的な国際協力を実施し、我が国の貢献とプレゼンスを維持・強化することが喫緊の課題
○ 政策に直接結びつく目的指向型研究（Mission-Oriented Research）の更なる推進
社会保障分野の国際協力のニーズの高まり
これまでに行ってきた主な研究内容
○WHO保健システム評価手法の妥当性およびその活用に関する研究（H14-15）
○多国間協力事業の進捗管理および評価手法のあり方に関する研究（H16-18）
○我が国の国際協力を担う人材育成に関する研究（H15-16）
○システムの質の評価と途上国の保健医療システム強化支援のあり方に関する研究（H14-16）
○途上国における公共保健福祉サービスの質・安全の確保に関する政策研究（H17-19）
○国際保健における社会的健康因子に関する政策的取組みの立案・実行・評価に関する研究(H18-19)
視点
国際機関へのメジャードナーの視点
二国間援助の実施主体の視点
経済・科学技術・社会保障制度先進国の視点
研究テーマ
国際会議における効果的インターベンションのあり方に関する研究（新）
国際保健分野の人材育成の在り方に関する研究（新）
国際保健戦略立案における知識マネジメントに関する研究（継）
国際会議の場における日本の国益・プレゼンスの向上
途上国を中心とした諸外国への人材育成支援
知識・情報・ノウハウの共有・有効活用
効果的な国際協力推進システムの構築
効率的な社会保障の実施